

平成12年度リンゴ関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成12年度リンゴ関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成13年2月5日(月)に南部会館サザンパレスにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者38名、委託関係者29名ほか、計70名の参集を得て、除草剤8薬

剤(24点)、生育調節剤13薬剤(75点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成12年度 リンゴ関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 <>=中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
1. CG-231GT 7077' 剤 (レビ' NGT) ブ' タフェナシ 3.6% グ' リサートイソ' ロビ' ルアミ ン塩 14.4% [ハ' ルティス ア' ロ]	リンゴ	適用性 継 続	岩手大学、 宮城園試、 秋田果試、 長野果試	[雑草全般] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 40, 50, 60ml <2.5ℓ(専用/ス' ル)>, 40, 50ml<5ℓ(専用/ス' ル)>, 50ml<5ℓ> ; 茎葉処理 対: CG-231GT7077' 剤 50ml<10ℓ>	実・ 継	実) [リンゴ: 雑草全般] ・春～夏期、雑草生育期 (草丈30cm以下) ・40～60mL/a<2.5～5L/a(専用/ ス' ル使用), 5～10L/a> ・茎葉処理 継) ・低水量散布での効果の確認
2. F-701 顆粒水和剤 カルフェントラ' ンエチル 0.7% グ' リサートアンモニウム塩 25.0% [エフ・イム・シー]	リンゴ	適用性 継 続	北海道中央農試、 青森県に試県南	[雑草全般] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 30, 40, 50g<10ℓ> ; 茎葉処理 対: ハ' スタ液剤 50ml<10ℓ>	実	実) 前年通り [リンゴ: 雑草全般] ・春～夏期、雑草生育期 (草丈30cm以下) ・30～50g/a<10L/a> ・茎葉処理
3. MON-96A 液剤 (ラウンド' アップ' ハイド' ト) グ' リサートアンモニウム塩 41% [日本モンサント]	リンゴ	適用性 継 続	北海道中央農試	[多年生雑草(ス' ナを除く)] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 50ml <2.5, 5(専用/ス' ル), 10ℓ>, 100ml<5ℓ> ; 茎葉処理 対: 三共の草枯らし 50ml<2.5ℓ>	実	実) 前年通り [リンゴ: 雑草全般] ・春～夏期、雑草生育期 (草丈30cm以下) ・一年生雑草対象; 25～50ml/a 多年生雑草対象; 50～100ml/a <2.5～5L/a(専用/ス' ル使用), 5～10L/a> ス' ナ対象; 150～200ml/a <2.5～5L/a(専用/ス' ル使用)> ・茎葉処理

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験実施場所 <>=中間または 試験実施中(数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/a ;処理方法等	判 定	内 容
4. NH-007 70アフル剤 ビラフエニエチル 0.16% グリホサートイソプロピルアミン塩 30.0 % [日本農薬]	リンゴ	適用性 新 規	青森県に試県南、 宮城園試、 福島植防、 富山農技果試、 群馬園試中山間地 (5)	[雑草全般] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 40, 50, 60ml<10 ℓ> ; 茎葉処理 対: ハース液剤 50ml<10 ℓ>	継	継) ・効果の確認
5. SUM-99 70アフル剤 グリホサートイソプロピルアミン塩 30% 70ミオサジン 1% [日本モンサント、 住友化学工業]	リンゴ	適用性 新 規	弘前大学、 北海道中央農試、 秋田果試鹿角、 富山農技果試、 栃木農試 (5)	[雑草全般] 春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ; 40, 50, 60ml<10 ℓ> ; 茎葉処理 対: ハース液剤 50ml<10 ℓ>	継	継) ・効果の確認

B. 11年度分 除草剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ℓ>/a ;処理方法等	判 定	内 容
1. AKD-776-MC 70アフル剤 (カソロンMC) ジクロロニル 15% (製剤変更) [アグロネショウ]	リンゴ	薬 害 新 規	弘前大学 (1)	[薬害試験] ①春期及び秋期 800→800 g<10 ℓ> ②春期 2,000 g<10 ℓ> ; 土壌処理	実 継	実) [リンゴ: 一年生雑草、多 ・年生広葉雑草] 継・春期、雑草発生始期～摘期 (草丈10cm以下) ・300~400mL/a<10L/a> ・茎葉処理 継) 効果の確認
2. F-701 顆粒水和剤 カルフェントラザニエチル 0.7% グリホサートアンモニウム塩 25.0% [エフ・エム・シー]	リンゴ	薬 害 継 続	岩手農研 (1)	[薬害試験] ①春期、夏期、秋期 100→100→100 g<10 ℓ> ②春期 250 g<10 ℓ> ; 土壌処理	実	前出のとおり
3. WOC-01 液剤 (三共の草枯らし) グリホサートイソプロピルアミン塩 41% [三共]	リンゴ	適用性 継 続	青森県に試県南、 岩手農研、 福島植防、 長野南信農試、 富山農技果試 (5)	[雑草全般] 秋冬期 雑草生育期 ; 25ml<2.5, 5 ℓ>(専用ノズル)> 50ml<5 ℓ> ; 茎葉処理 対: ラウンドアップ液剤 25ml<2.5 ℓ>	実	実) [リンゴ: 雑草全般] ・春~夏期、雑草生育期 (草丈30cm以下) ・一年生雑草対象: 25~50ml/a 多年生雑草対象: 50~100ml/a <2.5~5L/a(専用ノズル使用)、 5~10L/a> ・茎葉処理 ・秋冬期、雑草生育期 (草丈30cm以下) ・25~50ml/a<2.5~5L/a(専用ノ ズル使用)> ・茎葉処理

C. 生育調節剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [ねらい] 処理時期 ; 薬量g・m ² <水量ℓ>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
1. AKD-857 液剤 MCPBエチル 3% [アグロカネショウ]	リンゴ (ふじ)	作用性 継 続	岩手大学 (1)	[摘花] (参考設計) ①中心花開花始めから 2～3日後(人工授粉後) ②同4～5日後(人工授粉後) ; 3000, 2000倍液 (展着剤無加用) ; 立木全面又は枝別散布 対: 石灰硫黄合剤 100倍液	実・ 継	実) [リンゴ(ふじ): 腋芽花の 摘花] ・ 中心花満開から3～5日後 ・ 2000～3000倍液 ・ 立木全面散布 注) 人工授粉を確実に。 継) ・ 散布時期及び効果の確認
		適用性 継 続	青森りんご試、 岩手農研、 宮城園試、 秋田果試、 山形園試、 福島果試、 長野果試、 長野南信農試 (8)	[摘花] ①中心花開花始めから 2～3日後(人工授粉後) ②同4～5日後(人工授粉後) ; 3000, 2000倍液 (展着剤無加用) ; 立木全面又は枝別散布 対: 石灰硫黄合剤 100倍液		
2. AKD-8086 水和剤 キリザリン系 12.5% MEP 25.0% [アグロカネショウ]	リンゴ (ふじ)	適用性 継 続	青森りんご試、 岩手農研、 宮城園試、 秋田果試、 秋田果試鹿角、 山形園試、 福島果試、 長野果試、 長野南信農試 (9)	[摘葉] ①収穫50日前 ② 45 ③ 40 ; 500倍液(展着剤無加用) ④収穫45日前 ; 500倍液(展着剤加用) ; 立木全面又は枝別散布	継 継)	・ 効果の確認 (気象条件、樹勢 等)
		リンゴ (つがる)	適用性 継 続	青森りんご試、 岩手農研、 長野南信農試 (3)	[摘葉] ①収穫40日前 ② 30 ; 1000, 500倍液 ; 立木全面又は枝別散布	
		リンゴ (ジョナ ゴールド)	適用性 継 続	青森りんご試、 岩手農研、 長野南信農試 (3)	[摘葉] ①収穫40日前 ② 30 ; 1000, 500倍液 ; 立木全面又は枝別散布	
3. CS-11H 水溶剤 イタコン酸 95% [白石カルシウム]	リンゴ	適用性 継 続	青森りんご試、 岩手農研、 秋田果試、 山形園試、 長野果試 (5)	[摘花] 頂芽中心花満開2日後及びその 2～3日後の2回散布 ; 400, 300, 200倍液 ; 枝別散布 対: 石灰硫黄合剤 100倍液の2回散布	継 継)	・ 効果の確認
4. GP-011 液剤 n-Propyl dihydroj asmonate (PDJ) 1% GA ₃ 1% [GP研究会 ; 日本ゼオン]	リンゴ (ふじ)	適用性 継 続	秋田果試鹿角、 長野果試、 長野南信農試 (3)	[果実の肥大促進] ①摘果後(1回散布) ②摘果後及びその2～3週間後 (2回散布) ; 400倍液(展着剤無加用) ; 枝別散布 参考: GA ₃ 25ppm 摘果後(1回 散布)	継 継)	・ 効果の確認 ・ 果実への影響について

C. 生育調節剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・類 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ℓ>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
5. KC-1129 水溶剤 蟻酸カルシウム 98.3% [兎栄化学]	リンゴ	適用性 継 続	北海道中央農試、 青森りんご試、 岩手農研、 秋田果試、 山形園試、 福島果試、 石川農総試、 群馬園試中山間地、 長野果試、 長野南信農試(10)	[摘花] 中心花満開直後及びその2~3日 後の2回散布 ; 300, 200, 100倍液 (展着剤無加用) ; 立木全面又は枝別散布 対: 石灰硫黄合剤 100倍液	実・ 継	実) [リンゴ(ふじ): 摘花] ・満開日 追加散布を要する場合は2~3 日後に1回 ・100倍液 ・立木全面散布 継) ・処理濃度と効果、葉害の確認 ・品種と効果について
6. NB-30 液剤 カルシウム(CaOとして) 13% (内 塩化カルシウム 7%、 有機酸キレートカルシウム 6%) [日本曹達]	リンゴ (ふじ)	作用性 新 規	青森りんご試、 岩手農研、 秋田果試 (3)	[摘花] ①中心花人工授粉1日後 ②中心花人工授粉2日後 ③中心花人工授粉3日後 ; 100倍液(展着剤無加用) ; 立木全面散布 対: 石灰硫黄合剤	—	(・適用性試験にて継続検討)
7. PDJ 液剤 n-Propyl dihydroj asmonate 5% [日本ゼオン]	リンゴ (ふじ)	作用性 継 続	岩手大学、 長野南信農試 (2)	[果実の成熟(着色)促進] 摘果終了後 ; 2000, 1000, 500倍液 (展着剤無加用) ; 立木全面又は枝別散布	—	(・果実肥大促進効果について 適用性試験にて継続検討)
	リンゴ (つがる)	適用性 継 続	長野果試、 長野南信農試 (2)	[果実の着色促進] ①収穫予定30~25日前 ; 700, 500倍液 (展着剤無加用) ; 立木全面又は枝別散布 ストップ・ル液剤を慣行使用	実・ 継	実) 前年通り [リンゴ(暖地栽培のつがる): 果実の着色促進] ・収穫予定30~25日前 ・500倍液 ・立木全面散布 継) ・効果の確認
8. RIC-1 液剤 (ケルパック66) 海藻モリネット [ロイヤルインダストリーズ]	リンゴ	適用性 継 続	岩手大学 (1)	[品質、収量に及ぼす影響(連年 処理)] ①3~4月 ; 5ml/樹(4~7年生)または7ml/ 樹(8年生以上) ; 土壌処理 ②落花後→その2ヶ月後 ; 2000倍液 ; 葉面散布 ③落花後→その1ヶ月後→2ヶ月 後 ; 3000倍液 ; 葉面散布	継	継) ・処理方法等の再検討
	リンゴ (ふじ)	作用性 継 続	北農試、 岩手農研 (2)	[品質、収量に及ぼす影響(連年 処理)] 落花直後 ; 1000, 500倍液	—	(・作用性試験にて継続検討)
		適用性 継 続	長野南信農試 (1)	[根及び地上部の生育促進(連年 処理)] 3~4月 ; 1, 2, 3, 5ml/樹<1~3ℓ/樹>	実・ 継	実) 前年通り [リンゴ: 根の発育促進] ・消雪後~4月 ・原液1~3ml/樹<1~3L/樹> ・灌水処理 継) ・効果の確認

C. 生育調節剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [ねらい] 処理時期 ; 薬量g・ml<水量ℓ>/a ; 処理方法等	判 定	内 容
9. RIC-1+RIC-12 液剤+水溶剤 (ケルバック66+カルビ'タ、カルビ'タP) 海藻モシネート カルシウム剤 (RIC-12)	リンゴ (ふじ)	適用性 新 規	青森県試験県南、 岩手農研、 秋田県試	[受光態勢の改善、摘葉作業の 軽減、品質への影響] 5回散布 ; ①最初の3回: RIC-1 3000倍+ カルビ'タ1000倍→後の2回: RI C-1 1000倍+カルビ'タP 800倍 ②最初の3回: RIC-1 3000倍+ カルビ'タ1000倍→4回目: RIC- 1 1000倍+カルビ'タP 800倍→ 5回目: RIC-1 500倍+カルビ'タ P 800倍	継	継) ・効果の確認
	リンゴ (つがる)	適用性 新 規	弘前大学、 岩手農研	[受光態勢の改善、摘葉作業の 軽減、品質への影響] 5回散布 ; ①最初の3回: RIC-1 3000倍+ カルビ'タ1000倍→後の2回: RI C-1 1000倍+カルビ'タP 800倍 ②最初の3回: RIC-1 3000倍+ カルビ'タ1000倍→4回目: RIC- 1 1000倍+カルビ'タP 800倍→ 5回目: RIC-1 500倍+カルビ'タ P 800倍	継	継) ・効果の確認
[ロイヤルインダ'ストリーズ]						
10. RIC-12 水溶剤 (カルビ'タ) クエン酸、リンゴ'酸カルシウム	リンゴ (王林)	作用性 継 続	岩手大学、 青森りんご試、 岩手農研	[油あがり、サビ、ビターピッ トの予防] ①5月中下旬→7月中下旬→9月 中下旬(3回散布) ②5月中下旬→6月中下旬→7月 中下旬→8月中下旬→9月中下 旬(5回散布) ; 1000倍液 (陰イオン系展着剤加用)	—	(・適用性試験にて継続検討)
	リンゴ (つがる)	作用性 継 続	広島県立大学、 岩手農研、 秋田県試、 長野県試	[油あがり、サビ、ビターピッ トの予防] ①5月中旬→6月上旬→6月下旬 (3回散布) ②5月中旬→6月上旬→6月下旬 →7月中旬→8月上旬 (5回散布) ; 1000倍液	—	
[ロイヤルインダ'ストリーズ]						
11. RY-186 液剤 水溶性カルシウム(CaO) 7% 既知化合物 6% [菱陽商事]	リンゴ (王林)	作用性 継 続	岩手農研、 秋田県試、 長野南信農試	[ビターピット予防、貯蔵性向 上(硬度、油あがり)] ①落花約30日後から15日間隔 5回散布 ②落花約30日後から3回散布(① 区の1, 3, 5回目処理と同日) ; 500倍液	—	(・適用性試験にて継続検討 (貯蔵性等について))
	リンゴ (ふじ)	自 主	弘前大	[摘葉効果、品質への影響] 通常散布時期の約2週間前 ; 500倍 ; 枝別散布	—	
12. AKD-8068 水和剤 (ジ'ョンカラー) キナキリン系 12.5% トリクロルホン 25.0% [アグロカネショウ]						
13. ジ'クロル'ロップ 液剤 ジ'クロル'ロップ 4.5%	リンゴ (きたろ う)	自 主	岩手農研、 秋田県試、 長野県試	[収穫前落果防止] 収穫25~20日前 ; 1000倍液<40>(展着剤無加用) ; 立木全面散布	実	実) [リンゴ(きたろう、さん たろう): 収穫前落果防止] ・収穫開始予定日の25日前 ・1000倍液<30~60L/a> ・立木全面散布
	リンゴ (さん たろ う)	自 主	果樹研リンゴ'研究部 岩手農研、 山形県試	[収穫前落果防止] 収穫25~20日前 ; 1000倍液<40>(展着剤無加用) ; 立木全面散布		